

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日： 令和2年6月30日

作成者： 藤本 隆

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
一般社団法人 コミュニティデザイン研究会	
事業名	日時 (期間), 場所
阪神間モダニズムに関する調査研究成果をまとめた報告書の配布・普及	平成31年4~令和2年3月 法人事務局ほか
内容 (実績) *実施したことを具体的に	受益者数
今までの阪神間モダニズム調査で得られたさまざまな戦前の阪神間の生活文化について、「阪神間モダニズム調査隊報告書 2018」にまとめ印刷・製本したものを、関係者をはじめ、阪神間を中心に大学・図書館に寄贈した。	(不特定多数) 人
	参加者数 (8) 人
成果 (社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
阪神間モダニズムの時代にこの阪神間後に花咲いた生活文化や精神性などは、阪神淡路大震災以降、まちなみがすっかり変わったことに加え、その当時を知る方々の高齢化により、徐々に失われようとしている。約数年間をかけて、30余名の方々から聞き取り調査をした結果の一部ではあるが、阪神間モダニズムの当時の様子を紹介する報告書を配布できたことで、ささやかではあるが当時の歴史・文化・ライフスタイルを次世代の方々に繋ぐ一助とすることができたと思われる。	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
まずは、完成した報告書の関係者への追加配布を引き続き行いたい。 また、2017年度に作成した阪神間モダニズムのデジタルアーカイブズ、2018年度の報告書では、聞き取り調査協力者が30余名からお聞きできたほんの一部しか、紹介できてはいない。今後、社会に情報を発信していくため、散逸の危機にある古写真のネット上での公開・デジタルデータ保存に引き続き努力していきたい。	